

新任教員のメッセーじ

一步そして一步

講師 英語 天野寿々子

「英語はーと苦手だったんです。」授業の後でよく聞く言葉です。意志を持って時間をかけても駄目でしたか。授業を聞き流していただけでは当然の結果です。それを

苦手とは言いません。過去のことは捨てて、今日から始めましょう。英語はもちろんしたい事、なりたいたい自分に向かって一歩踏み出しましょう。自分の「山」に自分を信じてあせらず一歩、一歩。

私も今年から新しい山に登り始めました。

平成21年度

国文学科コース別研修旅行

国文学科では、毎年恒例の行事として、一年生を対象とする一泊二日のコース別課外研修を実施している。昨年度までは夏季休暇中に実施していたが、本年度から、春の年度末休暇中に実施することと

した。本年度は入学式直前の4月2日～3日に実施された。日本語・日本文学コースは、「江戸と東京の文学と歴史を学ぶ」をテーマに、古典文学・近代文学・日本語学に関係の深い博物館・文学館等を訪ねた。

創作文芸コースは、「創作の現場を訪ねて」をテーマに、ジブリ美術館・印刷博物館等を見学した。

民俗文芸コースは、「下総国における庶民信仰の古利と民俗文芸ゆかりの地を巡る」をテーマに、千葉・東京の博物館・社寺・遺跡等を探訪した。



人気のジブリ美術館の見学

平成22年度 委員会の改変・新設

学務推進委員会
FD・SD委員会

平成22年4月より、学務運営、学生育成をさらに充実させるため、1委員会の改変、2委員会の新設を行った。3委員会の特長は、学長直属委員会であること、委員は所属

学科学科長（一般教育代表）および事務長が推薦する者と規程されたところにある。従来の将来構想委員会を発展的に解消し、学務推進委員会が発足した。この委員会は、

本学の学務全般について審議することを任務としている。教務委員会の小委員会であったFD委員会を独立した委員会とした。本学の教育水準の向上をめざし、教育内容や

教授法を組織的に点検・開発することを目的としている。同時に、職員に対しても、学生指導・学生相談技術の修得、進路指導に対する共通理解などを目的としたSD委員会を正式に設置し、研修を行う

ていくこととした。

PCによる 履修管理システム試行

日本史学科を対象に

商学科講師 五味俊夫

新年度と共に、日本史学科を対象に履修管理システムの運用が開始されました。これまで学生が手書きしていた履修届が、情報処理室のPCを使って登録できるようになりました。

登録された履修届は、講座別名表や出席表として教員も利用できます。さらに成績評価を加えると、履修管理システムのデータベースが完成します。

こうして集積されたデータは、ほかにも様々な資料作成や申請書類などにも拡大利用することが可能です。IT化は、仕事を熟知している当事者自らが、推進することによって最大の効果を発揮します。この度のシステム構築には、日々の教務事務に携わっている教務課の職員の方々と、直接授業を担当されている日本史学科の先生方の協力を得て、初めて可能なことな

ったのです。プログラムを担

当した私としては、本学の教職員組織の質の高さを垣間見た思いがしました。運用を始めて二ヶ月が経りましたが、何よりも本学にとって、有益なシステムとして、定着、進化していくことを期待しているところです。

◇◇◇
初めてPCによる履修届を行った日本史学科の2年生に、その感想を聞いてみました。「手書きするよりきれいで、見やすくなった」「間違えて入力しても、エラーが赤で表示され、安心して入力できた」「自分の履修の手控えがすぐにプリントアウトされ便利」

「一年生のときに単位修得した科目が、すぐにわかり便利」など、大旨好評でした。ただ「入力途中でPCがフリーズしてしまい困った」という問題点も指摘され、今後の課題も明らかになりました。